



9月議会  
 9/12~9/26  
 一般質問を行う

H19年度決算  
 10/1~10/31  
 総務・環境などで質問

彼岸花や金木犀の花の時期を過ぎ、すっかり秋になりました。  
 通信22号が仕上がりましたので、お届けいたします。

9月議会では、一般質問を行いました。1ヶ月余りがすむ以前の感があります。福田前総理が政権を投げ出した直後であり、質問は、「国では、弱き総理が、毎々、政権を投げ出す情けない状況が続いています」とはじめました。議場からは笑いが出ました。笑いの状況です。高齢人口急上昇、労働人口は減少、さらに非正規雇用が増し、収入等の大幅減、世界的不況…… 実態に合わない法律や制度と地方から変えるのは、大変な時間とパワーが必要で、今、衆議院解散選挙の話が二転三転しています。国会議員は何をしているのかと言いたい。



一般質問より

## 市長は、どうしても3人目の女性副市長が欲しかった。副市長兼CIOによる情報政策経費の削減は、「ウソ」だった！！

### 6月議会のやり取り

**3人目の副市長選任理由** 先の6月議会に3人目の女性副市長の選任同意が出されたことは、通信21号で報告させていただいております。選任の理由の一つに、IT関連経費、H20年度予算で、約63億円、これを10%、約6億3千万円削減できることを行政は、上げてきました。私の質問は、★削減効果の6億3千万円の根拠を説明してほしい。★削減効果はいつから出るのか教えてほしい。と聞きました。

**答弁はこうでした。** 新副市長がCIOを兼務した場合の削減効果として、IT関連予算の約10%相当、平成20年度、2008年度では、本市全体のIT関連予算額、約63億円に対し、約6億3千万円の削減が期待できると考えています。その削減率は、他の自治体でCIOを外部から任用することによって削減することが出来たIT関連予算の割合を用いており、自治体により7%~23%まで、ばらつきがあることから、おおむね10%と見込んだものです。(途中略)今年度の予算執行分から経費削減効果が現れるものと考えます。

**6億3千万円の削減は、平成20年度に実現できると答弁しています。**

すごい答弁をされるなど思っていました。副市長の就任は7月、4月からさかのぼって削減効果を出されてきた。削減の根拠も、他都市で出来ているので広島市でも出来るだろうというもの。情報関連の全ての予算を上げたわりには、細かく積上げたものは無いのですが、とにかく6億3千万円の削減は実行されるのだと思っていました。

### 9月議会のやり取り

**副市長就任後、6億3千万円の削減は可能なのか、削減は今年度中なのか再び質問しました。**

答弁は、削減の審査状況は、これまで9件の情報システムについて審査を行い、合計5374万円の削減を図っています。6億3千万円の削減効果は、今年度から始めて、最終的には複数年度に渡って効果が出てくることになります。と答えました。

**期間が複数年というのは初めて聞きました**

6億3千万円の削減は1年間の話です。複数年などという説明は全く聞いていませんし、行政から出された資料にもH20年、年間10%と書いています。6月議会の答弁で、誰が削減期間が複数年に渡ると思うのでしょうか

**★複数年とは何年間のことですか**

6月議会の答弁と9月議会の答弁が食い違うので、委員会でさらに質問を重ねました。すると、複数年は5年間だと答弁しました。どこから5年間などという期間が出てくるのか

★複数年、5年間、このような説明を副市長選任のとき各会派に説明をされましたかと質問すると、なんと局長が「聞かれなかったので説明しなかった」と答弁しました。

「聞かれなかったから…」この答弁が、聞いていただけではありません。「聞きません! 期間は1年間、平成20年度にと、資料に書いてあるからです」思わず「うそっ!!」と言いたくなるくらいです。削減期間が5年間なら、はじめから資料をつけて説明するべきです。

**6億3千万円の削減は、3人目の副市長を承認する、重要なポイントだった** 財政難の時期に3人目の副市長

が本当に必要なのか判断する重要な説明、答弁だったのです。はじめから5年とわかっていたら、賛成しなかったらどうでしょう…このことは説明しなくてはならないでしょう。

平成20年(2008年)10月1日 PMO(企画総務局情報政策部)

区分	平成20年度 予算額 A+B=63.0	平成20年度(2008年度)予算の見直し				
		H20年度 削減額	H21年度 削減額	H22年度 削減額	H23年度 削減額	H24年度 削減額
単年度契約分	A	△0.1A				
複数年度契約分	B=(b <sub>1</sub> +b <sub>2</sub> +b <sub>3</sub> +b <sub>4</sub> +b <sub>5</sub> )					
初年度更新	b <sub>1</sub>	△0.1b <sub>1</sub>	△0.1b <sub>1</sub>	△0.1b <sub>1</sub>	△0.1b <sub>1</sub>	△0.1b <sub>1</sub>
2年度更新	b <sub>2</sub>		△0.1b <sub>2</sub>	△0.1b <sub>2</sub>	△0.1b <sub>2</sub>	△0.1b <sub>2</sub>
3年度更新	b <sub>3</sub>			△0.1b <sub>3</sub>	△0.1b <sub>3</sub>	△0.1b <sub>3</sub>
4年度更新	b <sub>4</sub>				△0.1b <sub>4</sub>	△0.1b <sub>4</sub>
5年度更新	b <sub>5</sub>					△0.1b <sub>5</sub>
年度毎の新規削減額		△0.1A+△0.1b <sub>1</sub>	△0.1b <sub>2</sub>	△0.1b <sub>3</sub>	△0.1b <sub>4</sub>	△0.1b <sub>5</sub>
年度毎の新規削減額の合計		△0.1A+△0.1b <sub>1</sub> +△0.1b <sub>2</sub> +△0.1b <sub>3</sub> +△0.1b <sub>4</sub> +△0.1b <sub>5</sub> =△6.3				

\* 黄色のセルは年度毎の新規削減額、オレンジ色のセルは次年度以降継続する削減効果 (単位: 億円)  
 \* A、b<sub>i</sub>の大半は、CIOが就任前に実施済み。

左の表は、質問のあと5年間、6億3千万円の削減は、どのように行われるか、図で説明して欲しいと言っ出して資料です。副市長の任期はH23年6月までです。その翌年、5年後のH24年に「年間6億3千万円、削減できるのです。5年間の削減効果は、7-1の音階です。金額は未定、6億3千万円よりは多くあります」と雑誌のお話です。この資料はいつ作られたのでしょうか。日付は10月1日です。私に説明するための資料ではないという。当初からこの計画で説明もそのように行いたいと言ったか、納得できません。この資料で他の議員に説明してほしいと言ったら「秀ていません」と。総務局長から説明してもらうよう指示してもらいました。今はこれくらいしかできない…